

【学生を対象としたアンケート調査結果】

創価大学にて、男女共同参画入門の出前講座を実施し、そのアンケートの一項目に条例制定の必要性に関する設問を置いた。**条例制定について、全体の8割が「制定したほうがいい」を選択している。**

開催日：令和元年 5 月 30 日（木）
 時 間：午後 1 時 5 分～2 時 35 分
 場 所：創価大学
 参加者数：217 人 アンケート回収枚数 109 人

項目	人数	割合
制定したほうがいい	88人	81%
制定しなくてもよい	11人	10%
その他	4人	4%
無回答	6人	6%

設 問：

109人

講義の中で、男女共同参画社会の実現のためには市民・事業者・民間団体等の各主体の積極的な取組・関わりが重要であるとの話がありました。これを踏まえて、各主体の積極的な取組・関わりを示すため、「男女共同参画に関する条例」を制定することについてどのように思いますか。

自由記述における主な意見

(1) 条例を「制定したほうがいい」を選択した人

条例があることにより意識が変わっていくことがあると思います。

制定した方が市民全員に情報が知れ渡ると思うから。

若い人は政策について知らないことが多いので制定をすることでもっと多くの人に知ってもらったらいいと思う。

条例があることで今までより更に多くの市民に周知されるきっかけになると思う。

条例を制定することで、意識が強まると感じるから。

男女共同参画社会への意識を明確にするため。

制定した方が人々の意識に変化をもたらすから。

制定することにより個々人だけでなく社会全体でそういう動きが始まると思うから。

地域（住民）から意識を変えていくための一歩になると思うから。

市民、事業者、民間団体の関わりの中で男女共同参画は、とても大切なことであると思うため。

制定せずにできるなら、それでいいと思うが、より積極的な取組や関わりを示すためなら制定すべきだと思う。

制定したほうが取組や関わりがいかに関係が気付くことができると思うから。

ルールが定まってないと企業も個人も動かんから。

私たちの暮らしがより良くなるために働きかけることは重要なことなので、積極的に行うべきだから。

1人1人が生きがいをもてること出来るためには必要なのかと考えた。

日本の男女平等格差を地域から無くすため。

男女共同参画は難しい問題なので、条例があった方が分かりやすい。

実際に取組、関わりを示してくれた方が、何をすればいいかが具体的にわかるので行動しやすいと思ったから。

男女共同参画に関する条例を制定することで、男性の育児休暇取得率が高くなると考えたから。

各主体の積極的な取組、関わりは男女共同参画にはもちろん、その他の問題にもとても役立つものであると感じます。

(2) 条例を「制定しなくてもよい」を選択した人

制定をした方が男女平等を訴えることはできるが、その考え方自体が平等とはいえなくなる原因の一つでもあるような気がするから。

制定しなくても男女平等である社会でないといけないと思う。

制定して人がそれに従うのではなく、自らの気持ちで動くことが大切だと思う。

男女でできることに違いがあるので適材適所であるべきだと思うため、男女共同参画の条例は必要ないと思う。

今のままでいいと思う。

今のままでも差別は感じられない。

八王子市は上手くやっていると思うから。

(3) その他

女性の不利をなくすうえでは男女共同参画は必要だと考えるが、男性の立場が逆転し不利になってしまうのではないかと不安が残るのも正直なところである。

男女平等はすごく大事なことだと思います。ただ、女性の社会進出は少子化に影響を与えています。そして、男女を全て平等にすると体の作りや脳の作りでどちらかに不利が生じます。それを考えた上でのものになるのであれば良い。

条例を制定して企業に強制的に男女共同参画を進めることもいいと思いますが、ただ取り締まるだけだと企業も離れていきそうなので、地域が交流して監視するような形が良いのではないかと思います。